ボーリング柱状図

調　査　名　広谷地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業・工事名　広谷地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

ボーリングNo	5	1	3	3	6	1	8	9	0	0	2

シートNo　2

ボーリング名	No．2	調査位置	府中市鵜飼町		北緯	34° 34’ 21.88408”
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	2019年 10月 5日 ～ 2019年 10月 10日	東経	133° 14’ 41.43131”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	DL +48.72m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 0°	使用機種	試錐機	東邦0－D	ハンマー落下用具	半自動モンケン
総掘進長	10.00m								エンジン	ヤンマーNFD－13	ポンプ	東邦BG－3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1	47.72	1.00	1.00		礫混じり砂	黄褐	非常に緩い		全体的に草根を含む。 シルト分を少量含む。 礫分はφ5～2cm程度の角～亜角礫を10～20%程度含む。 深度0.30m～0.40mに硬質な花崗岩質玉石を含む。		1.00	ハンマー自沈			0／36								
2	46.22	1.50	2.50		シルト混じり砂	暗黄褐	非常に緩い		シルト分を10～20%程度含む。 砂分は粗～中粒砂主体。 φ＝1cm前後の小礫を極少量含む。		1.36 2.15	1／30			1／30								
	46.07	0.15	2.65								2.45 3.15	1／20	1		2／30								
3	45.22	0.85	3.50		シルト質砂	暗黄褐	非常に緩い		砂分を粗～細粒砂主体とし，シルト分を40%前後含む。		3.45 4.15	2	3	4	9／30								
4					シルト混じり砂	暗黄褐	非常に緩い		シルト分を10～20%程度含む。 砂分は粗～中粒砂主体。 φ＝1cm前後の小礫を極少量含む。		4.45 5.15	6	7	8	21／30								
5											5.45 6.15	5	8	7	20／30								10／7
6					強風化花崗岩	白灰褐～淡灰褐			岩盤等級はDL～DM級。 コアは棒状を呈し，表面はやや粗い。 指圧で砂状に崩れる程度軟質。 全体的に割れ目は不明瞭。 深度4.5m～5.5m間のコアは，粘土化～爪で削れる程度軟質な長石類の含有率が高く，白色がやや強調される。		6.45 7.15	11	13	26	50／30								
7	41.72	3.50	7.00								7.45 8.15	13	18	19／8	50／28								
8					風化花崗岩	淡灰褐			岩盤等級はDH級。 コアは棒状コアを呈し，表面はやや粗く，ハンマー軽打で粗粒砂～細礫状に崩れる。 深度下方向へ新鮮さが多少増す傾向が認められる。 石英類は硬質な砂状～細礫状で残る。 長石類は手揉みでシルト状に崩れ，一部は硬質な細粒砂状で残る。 割れ目は不明瞭。	10/9 8:00	8.43 9.15	14	19	17／7	50／27								
9											9.42 10.15	17	33		50／20								
10	38.72	3.00	10.00								10.35												10／8
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							